

令和3年度 自己評価・学校関係者評価報告書

令和4年3月29日

学) あすなる学園 あすなる幼稚園

1. 本園の教育目標

- ①社会性、読解力が育つ。 ②“美意識”が育つ。 ③レジリエンスのある心身が育つ。

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

- ①自分のまわりの、ヒト、モノ、コトに関心を持ち、自分で考えたことを自分の言葉であらわしたり、行動したり、表現したりする。
- ②文学やアート、自然から“美”を感じる体験をする。
- ③外遊びを中心に集団遊びや運動遊びを行い、心身の発達を促す。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	評価	取り組み状況
①	ヒトコトを一人一人の子が、自分自身の事として受けとめられたか。	A	・この状況の中で子どもが何をどう予測するのかを見通しながら、子どもから引き出す保育を行う。
②	日常の中に“美”を感じることできる体験が十分にできたか。	B	・環境音楽を取り入れて保育活動を行う。 ・美を意識した教材の選定準備を行う。
③	松林、海、公園などの環境を活かした保育活動されたか。	B	・松林や海へ、マラソン散歩を日常的に行い、さらにそこから繋がる広がる活動を見つけ出す。

評価 (A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった)

4. 総合的な評価結果

評価	理由
B	これまでにつくられてきたカリキュラムをさらに深めることの難しさがある。とはいえ、ステップアップのためのきっかけを持つために、何をどうしていけば良いのかさらに研究が必要。

評価 (A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった)

5. 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	美意識の問題	教師自らの美意識を見つめる“アート思考”の勉強を深めていく。
2	カリキュラムの見直し	・保育計画自体が飽和状態なので、新しい活動を入れていくために取捨選択を行う必要がある。 ・知恵がなければ創造性は育たない。子どもの主体性だけに任せるのではなく、どういった体験を通してどういった知識を身につけていくひつようがあるのかについて、園としての考え方をまとめていきたい。

6. 学校関係者評価委員会の評価

このコロナ禍の中、保護者がわが子の成長を感じる行事の日程調整をギリギリまで行ない、ほぼ全ての行事ができるようにしたことは、とてもよかったと思う。子どもの利益を最優先にしていくこの園のやり方は、ともするとすべての保護者が同意できるようなことにならないこともあると思うが、そこがブレないように今後も進めて行ってほしい。